H24.1.27
経営会議資料1
（総務部）

平成23年度　総務部　運営方針

1　部の業務目標

（部の使命、目指す姿などを箇条書で）

項　　目	根拠となる計画・指針等
・協働のまちづくり	美唄市まちづくり基本条例
・庁内協業体制の確立　～　目標の共有	びばい未来交響プラン前期基本計画
・情報公開の推進	美唄市財政健全化計画

2　部の経営資源

部の構成	総務課　契約管財課　地域経営室（2課1室6グループ）

（平成23年4月1日現在。予算規模は平成23年度予算書から集計）

職員数		予算規模（単位：千円）									
正規	38 人	一般会計	173,385	会計	0	会計	0	会計	0	一般会計	173,385
嘱託	8 人	関係職員費	324,705	関係職員費	0	関係職員費	0	関係職員費	0	関係職員費	324,705
臨時	0 人	公債費	5,016	公債費	0	公債費	0	公債費	0	公債費	5,016
計	46 人	計	503,106	計	0	計	0	計	0	合計	503,106

3　重点的に取り組む事項

（部の業務目標を達成するために市政執行方針に記載した事項を中心に箇条書で。**下線は特に重要な事項。**）

- 震災被災地への支援　～　被災地支援連絡会議で継続協議・実施可能なものは迅速に実行
- 防災計画の見直し　～　総点検による課題の洗い出し、要援護者支援計画、自主防災組織の育成
- 福祉避難所の検討
- 財政健全化　～　H22決算を踏まえた見直し（早期の健全化実現）
- 新公会計制度への対応　～　H22決算から作成・公表
- まちづくり基本条例の見直し　～　論点整理から意見交換、改正へ
- 移住・定住の推進　～　情報発信の充実、助成制度の設計
- 専修大学との交渉　～　短大施設活用
- 協業体制の整備・充実　～　グループ制の活用・定着、部・課の連携システムづくり
- 土地開発公社の健全化　～　土地売却の方策検討（移住・定住助成制度との連携）
- 廃校舎の活用策検討
- 町内会の実態把握及び連合町内会の必要性についての考え方の整理

■全庁的な計画的業務執行と健康管理
ノー残業デイ（おうちに帰ろうデイ）の周知・徹底。
■人材育成
新採研修等の講師に若手職員登用。
■部内の課題解決
毎月末に「総務部棚卸し会議」を開催。
①業務の進捗状況確認

4　部の業務目標の達成度を測る指標

（びばい未来交響プラン・施策評価から選択又は新設）

指標名	現状値（H21決算）	H23目標値	備　　考
性別役割分担意識からの解放率	47.3%（H22アンケート）	60.0%（H27）	
審議会女性登用率	19.60%	30.0%（H27）	
平和祈念行事数	4件	5件	「原爆展」（教委主催）
自主防災組織率	5.0%	25.0%（H27）	
まちづくり参画度	16.7%（H22アンケート）	20.0%（H27）	
連結実質赤字比率	9.75	14.15	財政健全化計画

5　事務事業インデックスⅠ期行財政改革掲載事項

No.	実施項目	実施内容
6-1	特別職給与の見直し	独自削減　→　H23継続
6-2	一般職給与の見直し	独自削減　→　H23継続
6-3	一般職特殊勤務手当ての見直し	継続協議事項　→　組合との協議継続
6-4	職員数の見直し	早期退職の勧奨　→　定数適正化計画で検討
6-5	財産収入の確保	未利用財産の売却・貸付等

※事務事業インデックスの「行財政改革」に掲載。

6　年間スケジュール（3に記載した事項）

事　　項	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
震災被災地への支援			★職員派遣	★派遣報告会							職員派遣・石巻市 →	
防災計画の見直し	★庁内検討委設置	総点検 →		★第2回検討委		★補正予算提出（備蓄品等整備）		★第3回検討委				
福祉避難所の検討				★福祉避難所先進地調査	★対象施設との協議		課題整理 →	→	→	→	→	福祉避難所の選定
財政健全化			★決算統計	★指標監査提出	★計画見直し	★4指標議会報告	計画見直し案 →	→	→	→	→	
新公会計制度への対応		★数値整理・入力 →	→	★4表作成・公表 →	→							
まちづくり基本条例見直し	★庁内検討委設置	★論点整理	★アドバイザーからの助言等	★市民等との意見交換 →	見直し案 →	★議会説明	★パブコメ	→	★議会提案			
移住・定住の推進	★助成制度検討	★臨時職員雇用	★情報発信 →	→	★協議会との意見交換等 →	→	★臨時職員終了 →	→	★次年度予算への反映			
協業体制の整備・充実	★グループ確定	★市広報紙掲載	グループ制活用事例庁内紹介、課・部の連携システムづくり									
土地開発公社の健全化	★民間企業情報収集	★土地売却活動 →	→									

※裏面に続く。

6　年間スケジュール（３に記載した事項）

事　　項	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
廃校舎の活用策検討		★コミュニティ施設審議委	★現地調査	★具体案検討	→	→	→	→	★次年度予算への反映	→	地域との協議	→
①町内会の実態把握及び②連合町内会の必要性についての考え方の整理					★②他市の取組状況を把握	★①町内会の実態の把握（自治組織代表者会議）	まち懇で途中経過報告	★取り纏め、町内会へ報告	→	★整理		

平成23年第1回市議会定例会以降における主な課題と対応

時　期	質　問　要　旨 一般質問、常任委員会、特別委員会　質問	答　弁　要　旨	具体的対応・スケジュール	現在までの対応状況
2定	①単位町内会への住民の加入を、広報紙などで加入の呼びかけが必要ではないか。 ②市全体の町内会連合会組織は必要性について（森川議員一般質問）	①個々の町内会の状況について把握ができていないので「地域応援チーム」などを通じて、状況を把握し必要な対応を考えていく。 ②市全体の連合会組織について、地域福祉の観点もあるため、必要性について町内会の意向を確認する必要がある。	①今年度の地域応援チームの活動のなかで実態を把握する予定（7月より活動開始） ②他市の連合町内会へ ・補助金支出の有無 ・連合町内会組織の有効性及び活動内容　の把握 ↓ ・連合町内会の必要性を、本市の単位町内会へアンケート等で確認（12月）	①地域応援チームにより地域課題の把握（2月末まで） ②他市の連合町内会の把握 ・市の補助金支出の有無、有効性及び活動内容把握⇒実施済 ・単位町内会長及び連合町内会長アンケート（9月～10月）：実施済 （必要性を感じている方の割合は3割～4割程度） ※町内会長あてアンケート結果の通知（12月） ・今後、単位町内会の課題解決の方法の議論が必要。その中で全市連合町内会の必要性、役割も議論していきたい旨を通知。
4定	公契約条例の検討経過について（倉本議員一般質問）	他の自治体の動きについて、引き続き情報収集に努めるとともに、本市の実情に応じた対応の仕方や条例の必要性について、庁内組織の入札契約制度検討委員会などで検討していく考えである。	本年度中に入札契約制度検討委員会において、課題や条例の必要性等について、協議するとともに、新年度も継続検討していく。	
4定	美唄ダムの決壊時など、危機管理体制をどのようにしていくのか。〔一般質問：土井議員〕	ダムの管理者である空知総合振興局に、さらに確認をしたうえで、必要な対応に努める。	12月中に空知総合振興局に確認 平成24年1月以降同局と必要な対応を協議する。	空知総合振興局に確認し、必要な対応を協議する。
4定	自主防災組織の組織率をどのように高めていくのか。〔一般質問：土井議員〕	今後、さらに設立促進に向け、取り組む。	今年度内に新規設立2団体を目指し、町内会にアプローチする。 新年度は、自治組織代表者会議、まちづくり地区懇談会、地域応援チームなどを通じて設立を呼びかける。	同　左
4定	協働のまちづくりを進めていく上で、今後の表彰制度の考え方を伺う。〔一般質問：高田議員〕	多様なまちづくりへの参加を促すという観点から、今後、幅広い表彰等の取扱いについて、他市の状況等も参考にしながら、十分検討する。	12月　他市の状況調査 平成24年1月以降　協働のまちづくりに関する表彰制度の検討に入る。	同　左

平成23年度　市民部　運営方針

H24.1.27
経営会議資料1
（市民部）

1　部の業務目標
（部の使命、目指す姿などを箇条書で）

項　　目	根拠となる計画・指針等
・国民健康保険、後期高齢者医療制度の健全な運営と、医療費助成によるやさしさと健康のまちづくりの実現 ・防犯や交通安全活動、市民バスの運行などによる安全で安心な地域づくりの実現	
・ごみの減量化と資源の有効利用、環境への負荷の少ない循環型社会の創造と美しきまちづくりの実現	・ごみ処理基本計画
・自主財源である市税等の適正な確保及び納税者の公平な税負担による行政への信頼関係を構築する。	・財政健全化計画

2　部の経営資源
（職員数は平成23年4月1日現在。　予算規模は平成23年度予算書から集計）

部の構成	市民課・生活環境課・税務課

職員数		予算規模（単位：千円）									
正規	47 人	一般会計	638,011	バス会計	45,578	国保会計	3,802,235	後高会計	719,998		
嘱託	8 人	関係職員費	310,452	関係職員費	3,528	関係職員費	54,368	関係職員費	0		0
臨時	8 人	公債費	0	公債費	0	公債費	50	公債費	0		0
計	63 人	計	948,463	計	49,106	計	3,856,653	計	719,998	合計	5,574,220

3　重点的に取り組む事項
（部の業務目標を達成するために予算要求する事項を中心に箇条書　下線は特に重要な事項。）

- 国保税率等の平成24年度改定に向けた準備
- 特定健診・特定保健指導の推進
- 地域安全活動の推進（地域安全教室の開催・自主防犯組織の立ち上げ支援）
- 市内バス路線（南美唄線）維持のための財政支援
- 地域公共交通活性化市民バス東線の循環方式による実証運行と乗合タクシーの実証運行
- ごみ処理体系再構築（・循環型社会形成推進地域計画及びごみ処理施設基本計画策定）
- 市税等の収納率の向上（現年分の収納対策を強化し、早い時期での催告書等で新規滞納繰越額を抑制する。また、滞納繰越分については、滞納者の担税能力を適切に見極めるため、きめ細やかな納税相談・指導を実施し、あわせて給与・預金並びに換価を前提とした不動産、動産などの財産調査を徹底し、差押え等の滞納処分を適切に執行する。
  また、「納税しやすい環境づくり」として、コンビニ収納システム導入について、調査、検討する。

4　部の業務目標の達成度を測る指標
（びばい未来交響プラン・施策評価から選択又は新設）

指標名	現状値（H21決算）	H27目標値	備　　考
ごみの適正分別率	68.9 %	86.0 %	
リサイクル率	13.8 %	18.2 %	
市税収納率	現年分　96.73 % 滞繰分　10.98 %	現年分　98.00 % 滞繰分　15.00 %	

5　事務事業インデックスⅠ期行財政改革掲載事項

No.	実施項目	実施内容
6-6	市税収納対策の強化	預貯金・給与等の財産調査及び差し押さえの実施ほか
6-11	東美唄出張所の見直し	検討

6　年間スケジュール（3に記載した事項）

事　　項	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
国保税率等の改定			★決算分析	★運営協議会1	★運営協議会2	運営協議会3 ★業見込み・改定案	★運営協議会4（諮問）	広報紙：状況掲載 12月号～3ケ月		運営協議会5（答申）	運営協議会6	市議会　条例提案 限度額及び税率改定案
特定健診・特定保健指導の推進		★健診準備（受診券）　推進検討委員会	★受診券発送（年度末迄有効）	★個別健診開始	★集団健診開始	★特定保健指導開始	★集団検診終了 推進検討委員会					個別健診終了
地域安全活動の推進			★地域安全教室（高齢者・町内会）									
地域公共交通活性化		★協議会開催			★協議会開催				★協議会開催		市民バス東線の実証運行（2月～3月）	
ごみ処理体系再構築	★月形町との連携協議		★岩見沢市との協議	3市町協議	3市町協議	3市町協議	3市町協議 ごみ処理方針議会会派説明	3市町協議 中間処理施設の方針決定	3市町協議			
し尿等共同処理		★幹事会（平成27年度からの共同処理を目指す）			下水道協議会し尿部会	し尿幹事会	し尿幹事会	し尿MICS事業打合せ	し尿幹事会			
ごみ減量化事業		★環境審議会	★	環境審議会			★エコセミナー 減量等審議会		★環境審議会			
市税等収納対策の推進	★強調週間 ★現年催告	★強調月間		★新規滞納分催告	★預金調査	★滞繰一斉催告	★強調月間 ★収納対策本部設置	★強調週間	★強調月間 ★特別対策本部設置 管理職徴収・現年催告 インターネット公売（該当なし）	強調週間	強調週間	強調月間

平成23年第1回市議会定例会以降における主な課題と対応

時 期	質 問 要 旨 一般質問、常任委員会、特別委員会　質問	答 弁 要 旨	具体的対応・スケジュール	現在までの対応状況
1&3定	国保税率の改定について(一般:長谷川議員)	運営協議会で議論を行う	11月諮問、12月答申予定	24.1.20運営協議会より市長に答申
3定	新しいごみ処理方式に係る市民負担の考え方 (一般:倉本議員)	ごみの削減、これまでの水準を基本に検討する。	ごみ処理方法が決定した段階で検討して行く。	情報収集に努め、現在検討中(24年の秋頃には・・・・・・)
4定	生ごみの収集方法、堆肥化施設、広域の運搬方法や体制について(一般:長谷川議員)	市民が分別しやすい方法を、施設は農業関係団体と協議をし、堆肥化の手法も決めていく。 運搬は、効率性やコストを比較検討する。	出来るだけ早い時期に決定していく	1/23サンアール推進員と協議 1/24廃棄物減量等推進協議会と協議 2/14&15農業委員会主催の『地区別懇談会』に同席し、アンケート等調
4定	ごみ処理について(桜井委員)	生ごみ堆肥化の収集方法、手法、市民負担等課題もあり、引き続き市民の皆様から意見を伺う。	1/23サンアール推進員と協議 また、年度内に衛生協力会連合会と協議	1/23サンアール推進員と協議 1/24廃棄物減量等推進協議会と協議 2/14&15農業委員会主催の『地区別懇談会』に同席し、アンケート等調

平成23年度　保健福祉部　運営方針

H23.1.27
経営会議資料1
（保健福祉部）

1　部の業務目標

（部の使命、目指す姿などを箇条書で「美唄市福祉のまちづくり条例」の理念に基づいて施策を推進

項　　目	根拠となる計画・指針等
・地域力の推進を視点に安全・安心の支え合う福祉のまちづくり	・美唄市地域福祉計画
・子育て支援ネットワークの構築など総合的子育て支援	・びばいっこすくすくプラン
・高齢者が安心して暮らせる地域包括ケア体制の充実	・高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画
・介護予防や地域を基盤とした健康づくりの推進	・　〃　　ヘルシーライフ21
・保健予防体制の充実と疾病予防事業の推進	・びばいヘルシーライフ２１
・地域医療の確保	・美唄未来交響プラン前期基本計画

2　部の経営資源

部の構成	理事 地域福祉課 こども未来課 高齢福祉課 健康推進課 恵風園・恵祥園

（平成23年4月1日現在。予算規模は平成23年度予算書から集計）

職員数		予算規模（単位：千円）									
正規	73 人	一般会計	3,182,800	介護保険会計	2,402,674	介護サービス会計	93,910	会計	0	全体予算	5,679,384
嘱託	64 人	関係職員費	604,789	関係職員費	93,274	関係職員費	136,044	関係職員費	0	関係職員費	834,107
臨時	48 人	公債費	25,729	公債費	195	公債費	235	公債費	0	公債費	26,159
計	185 人	計	3,813,318	計	2,496,143	計	230,189	計	0	合計	6,539,650

3　重点的に取り組む事項

（部の業務目標を達成するために市政執行方針に記載した事項を中心に箇条書で。**下線は特に重要な事項。**）

①地域生活課題解決の自主事業を支援する地域福祉ネットワーク事業の推進
②障がい者の福祉向上のため、第５２回全道ろうあ者大会開催を支援
③子育てサービスの充実や地域と幅広く連携を図るための子育て・子育ち力総合対策事業の推進
（子育て支援サポーターの養成や地域子育て拠点支援事業等の推進）
④相談支援の充実や各種団体との連携など家庭児童相談事業の充実
⑤総合相談・ケアマネ支援・ケアマネジメント、高齢者実態把握等、地域包括支援センターの運営
⑥高齢者の一次・二次介護予防事業の実施など地域支援事業の推進
⑦独居高齢者等の安全・安心な生活支援のため緊急通報システムの更新
⑧低所得者の高齢者、障がい者、一人親世帯への支援のため福祉灯油の実施
⑨特定健診・特定保健指導の効果的な実施と生活習慣病予防支援の充実などによる中高年疾病予防事業の推進
⑩救急診療体制の維持、市内医療機関との連携などによる地域医療の確保
⑪入所者の居住環境保持のため恵祥園の屋上防水工事の実施

4　部の業務目標の達成度を測る指標

（びばい未来交響プラン・施策評価から選択又は新設）

指標名	現状値（H21決算）		H23目標値	備　　考
子育てしやすいまちだと思う市民の割合	H22アンケート	32.7%	41.8%	
自分が健康だと思う市民の割合	H22アンケート	66.4%	75.0%	
地域で生活できている障がい者の割合		96.3%	96.2%	
自立高齢者率		82.9%	83.5%	

5　事務事業インデックスＩ期行財政改革掲載事項

No.	実施項目	実施内容
2-1	へき地保育所保育料の改定	H21～23で段階的に25%増
4-2	恵風園・恵祥園の民営化	恵風園・恵祥園見直し方針の検討

6　年間スケジュール（３に記載した事項）

事　　項	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①地域福祉ネットワーク事業	福祉のまちづくり事業（随時）H23.12末現在　２件★											
②全道ろうあ者大会開催支援				補助金交付★		大会開催★						
③子育て・子育ち力総合対策事業	通年 出産家庭訪問★ （家庭児童相談としても実施） 子育て短期支援事業★		子育て支援サポーター養成講習・子育て支援サポータースキルアップ講習（第1回目）★	フォト・エッセイコンテスト作品募集★ 子育て支援サークル視察研修★	フォト・エッセイコンテスト作品募集★	地域子育て支援推進会議(第１回)★ 子育て支援サポーター講習★・子育て支援ニュース発行(１回目)★	フォト・エッセイコンテスト作品募集★	フォト・エッセイ作品審査★	フォト・エッセイ表彰式★ （はみんぐ祭）			子育て支援ニュース発行(２回目)
④家庭児童相談事業の充実			要保護児童対策地域協議会代表者会議★					要保護児童対策地域協議会研修会「児童虐待防止推進月間」の啓発★				
⑤地域包括支援センター運営事業	通年 総合相談･ケアマネ支援・ケアマネジメント（要支援・特定高齢者）・情報発信（ＰＲ活動）・地域高齢者の実態把握（認知症高齢者等）★											
⑥介護予防事業	通年 自主グループ支援		基本チェックリスト評価★	介護予防教室★								
⑦緊急通報システムの更新		端末機契約 センター機契約★	利用者周知★	端末機取替え★		新機種待機者申請開始～設置★					新センター機設置	既存センター機撤去
⑧福祉灯油							１０月号メロディー掲載～受付開始（１２月中旬まで）			使用期限１月末	★	
⑨特定健診・特定保健指導	通年 生活習慣病予防★				特定健診★		特定保健指導★					
⑩救急医療体制の確保	通年　・庁内検討委員会　・医師会など関係機関との協議★・地域医療に関する懇談会解散（8/10）★・地域医療体制の在り方検討委員会設置（9/29）第１回開催（11/21）★										第２回開催	第３回開催
⑪恵祥園屋上防水工事						★						

平成23年第1回市議会定例会以降における主な課題と対応

時 期	質 問 要 旨 一般質問、常任委員会、特別委員会　質問	答 弁 要 旨	具体的対応・スケジュール	現在までの対応状況
1定	子育て短期支援事業の利用者ニーズにあった支援のあり方〔一般質問：吉岡議員〕	幅広く利用いただくための環境づくりが課題であり、支援のあり方を今後も検討したい。	平成22年度の里親預かりに加え、平成23年度から養護施設等とも契約をし受け入れ体制を整える。	市内里親2か所と児童養護施設「岩見沢光が丘学園」と奈井江の小規模児童養育事業「ファミリーホームぶどう」とも契約済み。 平成23年度実績（12月末）8名延べ24日間
1定	健康増進対策について、健康表彰制度や健康の駅を検討しては〔一般質問：高橋議員〕	表彰はしていないが、貯筋体操の成果を個別に渡している。健康の駅は承知しているが、本市の実情にあったサービス提供のあり方を調査研究したい。	多様化する市民ニーズに応えていくため、本市の実情にあったサービス提供のあり方について今後も検討する。	「健康都市宣言」を検討テーマのひとつとして掲げ、次期健康日本21美唄市計画の策定作業にとりかかることとしている。
2定	市立病院と労災せき損センターとの間での連携・強化に向けた話し合いの考え方〔一般質問：丸山議員〕	今年度、地域医療のあり方について一定の方向性を見出すこととしており、労災せき損センターを含めた市内医療機関との連携強化の検討を進める必要がある。	方向性の検討にあたっては、医師会など関係機関との意見を踏まえながら進める。	地域医療体制の在り方検討委員会を、市医師会、市立病院、労災せき損センター、開業医の委員により構成し、オブザーバーに岩見沢保健所長を加え、持続可能な医療体制の構築を図るための検討を進めている。
3定	地域医療に関する懇談会の経過および今後の検討の進め方〔一般質問：金子議員〕	懇談会は本年8月に解散。地域医療のあり方について一定の方向性を見い出すため、新たな検討機関の設置に向けとり進めている。	9月検討委員会の設置、10月以降開催、本年度中方向性のまとめ	美唄市地域医療体制の在り方検討委員会を9月29日に立ち上げ、第1回委員会を11月21日に開催した。（会議は公開で行い、概要を広報誌や市のホームページで知らせている。）
4定	美唄市地域医療体制のあり方検討委員会における今後の方向性と市民の意見等の反映について〔一般質問：桜井議員、長谷川議員〕	検討委員会において議論を重ね、市民の皆さんの声を反映できる機会を設けた上で、本年度末に一定の方向性を見い出す。	平成24年2月に第2回検討委員会を開催し、その後市民の意見等が反映できる機会を設け、検討委員会としての方向性を示す。	第1回検討委員会での課題整理や意見交換を踏まえ、第2回以降の検討委員会を開催するとともに、本年3月末までに一定の方向性を見い出す。 また、市民意見の反映できる機会を設ける。
4定	健康都市宣言について〔一般質問：土井議員〕	誰もが健康で生きがいを持って、安心して暮らせるまちづくりを進めることが必要であることから、さまざまな角度から実施に向けて検討する。	平成24年度中に「びばいヘルシーライフ21」の次期計画策定を行うこととしており、この計画策定と連動させながら、健康都市宣言について取り組んでいきたい。	「健康都市宣言」を検討テーマのひとつとして掲げ、次期健康日本21美唄市計画「びばいヘルシーライフ21」の策定作業（平成24年度中）をとり進める。

平成23年度商工交流部　運営方針

H23.1.27
経営会議資料1
（商工交流部）

1　部の業務目標

（部の使命、目指す姿などを箇条書で）　　＊第6期美唄市総合計画のほか

項　　目	根拠となる計画・指針等
・農商工連携の推進	産業振興計画(予定)　・農業振興ビジョン
・商工業の振興	産業振興計画(予定)
中心市街地活性化、企業誘致	産業振興計画(予定)
・観光・交流の推進	産業振興計画(予定)
交流人口の増加	（スポーツ・レクリエーションの里づくり基本計画）
・雇用対策の推進	

2　部の経営資源

部の構成	商工労働課（農商工連携参事、３セク担当参事含む）、観光交流課

（平成23年4月1日現在。予算規模は平成23年度予算書から集計）

職員数		予算規模（単位：千円）									
正規	12 人	一般会計	937001	会計	0	会計	0	会計	0		937001
嘱託	1 人	関係職員費	82669	関係職員費	0	関係職員費	0	関係職員費	0		82669
臨時	人	公債費	215146	公債費	0	公債費	0	公債費	0		215146
計	13 人	計	1234816	計	0	計	0	計	0	合計	1234816

3　重点的に取り組む事項

（部の業務目標を達成するために市政執行方針に記載した事項を中心に箇条書で。**下線は特に重要な事項。**）

① 農商工連携の推進
（農商工連携推進助成事業を創設し、農産物を活用した商品開発、販路拡大等への支援）
② 産業振興計画の策定
（「農商工連携」「商工業振興」「観光・交流」を柱に年内に策定、民を含む産業振興戦略会議の立上げ）
③ 企業誘致の推進
（クラウドコンピューティングEXPO出展、BHC首都圏等企業データセンター・コールセンター誘致など）
④ 雇用対策の推進
（緊急雇用創出事業の推進「当初7事業新規雇用25名、補正1事業新規雇用8名」、雇用連絡調整会議の開催など）
⑤ ＢＨＣ，ＨＣＣの経営改善
（BHC入居促進、HCC学生募集の展開など経営改善の取り組み）
⑥ 地場産品アンテナショップ運営事業
（商品の充実、販売促進・売上げの向上、H23までの検証、今後の取り組み方針の明確化）
⑦ 地域力広域連携チャレンジ事業
（地域力広域連携チャレンジ会議の設置、ツアーの企画等、広域観光マップ作成、観光ホスピタリティー研修会開催）
⑧緊急小規模冷温食糧備蓄基地の誘致
（１万ｔクラスの小規模食糧（米）食糧備蓄建設に向けた国等への要望活動）

4　部の業務目標の達成度を測る指標

（びばい未来交響プラン・施策評価から選択又は新設）

指標名	現状値（H21決算）	H23目標値	備　　考
新たに商品化された特産品数	－	－	Ｈ２７年度まで３商品目標
工業出荷額	173.7億円（H20:154.8）	159.4億円	Ｈ２７年度において192億円を目
交流人口（観光入込客数）	36.2万人	38万人	

5　びばい未来交響プラン行財政改革※（旧自立推進計画）実施事項

No.	実施項目	実施内容
117	ＢＨＣ　美唄市貸付金の償還	Ｈ２３実施。　Ｈ２４以降も継続　（159,500千円）
118	ＨＣＣ　美唄市貸付金の償還	Ｈ２３実施。　Ｈ２４以降も継続　（103,000千円）
119	ＢＭＣ　民営化の検討	引き続き検討

※事務事業インデックスの「行財政改革」に掲載。

6　年間スケジュール（３に記載した事項）

事　　項	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
農商工連携の推進	★農政部、商工交流部による協議(随時) ★募集要項策定	★支援制度等のパンフレット作成準備 ★助成事業募集		★審査要項策定	★農業者、商工業者への連携事業の働きかけ ★事業周知(ﾒﾛﾃﾞｨ) ★審査会	★追加助成事業募集 ★認定計画公表（２件）		★相談会開催 ★講習会開催	★審査会	★認定計画公表（１件）	・事業周知(ﾒﾛﾃﾞｨ) ・新年度事業設計	
産業振興計画の策定	★素案作成									プロモーション事業実施調査の整理（企業動向調査、受入環境調査）	主要3課による検討・修正 庁内会議による検討・修正	
企業誘致の推進	★空知団地企業誘致推進会議(H23事業計画等)	★クラウドコンピューティングＥＸＰＯ出展	~~・立地アンケート調査（郵送、電話）~~			★道内・外方面企業訪問	・クラウドコンピューティングEXPO出展			首都圏を中心とした被災地関連企業等への訪問活動（継続実施）		
雇用対策の推進	★緊急雇用創出事業の実施。		★緊急雇用補正予算		★企業誘致プロモーション事業委託	★8人の求職者を雇用し各種調査業務開始			★各種調査結果の成果を納品	1/25業務委託終了		

6　年間スケジュール（３に記載した事項）つづき

事　　項	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
BHC、HCCの経営改善	★・ＢＨＣ～経営改善のための入居募集活動（道、経産局の施策と連携し、首都圏の被災企業等移転支援に係る情報提供:公的インキュベーション施設(道HP4/21～)、市の支援制度・施設提供等(道HP6/22～、経産局HP11/8～） ★・ＨＣＣ～①中期経営見通しについて検討（委託事業の確保に努め、収入増を図る）②学生募集活動に対する支援（通学費等の助成、7月、9月にはカレッジと合同で高校訪問の実施）											
地場産品アンテナショップ運営事業		★運営主体の検討→								出店者協議会	次年度以降運営体制決定	
地域力広域連携チャレンジ事業		★・地域力広域連携チャレンジ会議設置（美唄、三笠、月形、浦臼）		★観光ツアー支援		★ホスピタリティ研修会				・看板作製(フットパスコース6箇所)　・ホスピタリティ研修（2/17、小松正明釧路市副市長、国交省職員）・広域観光マップ作成		
緊急小規模冷温食糧備蓄基地の誘致			★・関係機関との打合せ・協議（要望、提案内容の精査） ★要望書提出先の確認 ★・要望活動日程の調整→			★・9/30農林水産省、経済産業省要望書提出。 ★・10/21～10/24道庁他、道内関係官庁等へ要望書提出。		★・農水消費・安全局長高橋氏及び国交省北海道局参事官川合氏を招致した講演会の準備等（1/26開催）				・道のバックアップ拠点構想、食料備蓄基地構想を踏まえた促進策・要望内容等の検討

平成23年第1回市議会定例会以降における主な課題と対応

時　期	質　問　要　旨 一般質問、常任委員会、特別委員会　質問	答　弁　要　旨	具体的対応・スケジュール	現在までの対応状況
4定	アンテナショップの事業成果・課題・24年度以降の運営について(五十嵐議員　一般質問)	地域経済の活性化に一定の効果があった。役割は本市経済の活性化にとって必要。24年度以降の事業継続に向けて関係団体との協議を進めている。	収支シミュレーションを行い、出店者者協議会役員会、全体会議で協議して決定する予定	23.12.13～出店者協議会役員会、24.1.17～出店者協議会全体会議。今後、アンケートを行い再度役員会、全体会議を経て決定予定
				【基本方向】事業主体～美唄市、運営～出展者協議会、設置場所～現在地で継続、現出展者数～43者、雇用の継続、売り上げ増加に向けた取組み、市の人的支援など

平成23年度　農 政 部　運営方針

H24.1.27
経営会議資料1
（農政部）

1　部の業務目標

（部の使命、目指す姿などを箇条書で）

項　　目	根拠となる計画・指針等
Ⅰ　農家経済の安定化	・美唄市農業ビジョン
Ⅱ　消費者に信頼される産地づくり	・美唄市農業経営基盤強化促進基本構想
Ⅲ　森林の保全と活用	・美唄市農業振興地域整備計画
	・美唄市食育推進計画
	・田園環境整備マスタープラン

2　部の経営資源

部の構成	農政課　農業近代化センター

（平成23年4月1日現在。予算規模は平成23年度当初予算書から集計）

職員数		予算規模（単位：千円）									
正規	19 人	一般会計	414,718	会計	0	会計	0	会計	0		414718
嘱託	2 人	関係職員費	163,096	関係職員費	0	関係職員費	0	関係職員費	0		163096
臨時	2 人	公債費	2,327,055	公債費	0	公債費	0	公債費	0		2327055
計	23 人	計	2,904,869	計	0	計	0	計	0	合計	2904869

※一般会計は「ICT」除く数値

3　重点的に取り組む事項

（部の業務目標を達成するために市政執行方針に記載した事項を中心に箇条書で。下線は特に重要な事項。）

Ⅰ　農業経営の体質強化と安定化をめざして
- ①　米などの基幹作物の振興（米、麦、大豆）
- ②　野菜などを取り入れた経営の複合化
- ③　農地の利用集積の促進
- ④　生産基盤の整備
- ⑤　地域農業を支える多様な担い手の育成・確保
- ⑥　地域や農業者が主体的に取り組む農業・農村づくり

Ⅱ　消費者に信頼される産地をめざして
- ①　人や環境にやさしい安全・安心な農産物づくり
- ②　消費者と生産者の結びつきの強化
- ③　農業農村に対する理解の促進

Ⅲ　森林の保全と活用
- ①　森林の利用と適正管理の推進

4　部の業務目標の達成度を測る指標

（びばい未来交響プラン前・施策評価から選択又は新設）

指標名	現状値（Ｈ２１決算）	H23目標値	備　　考
・認定農業者数	518　人	→	現状値を維持します
・ｲｴｽ!ｸﾘｰﾝ表示制度登録集団数	10　集団	↗	現状値を増やします
・森林面積	12,265 ｈａ	12,265 ｈａ	

5　事務事業インデックスⅠ期行財政改革掲載事項

No.	実施項目	実施内容
95-2	営農改善センター（豊葦・北美唄）の見直し	平成24年3月末廃止
95-3	開拓婦人ホームの見直し	平成24年3月末廃止

6　年間スケジュール（３に記載した事項）

事　　項	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
Ⅰ　①　戸別所得補償制度	★・再生協議会設立 ★・図上確認作業		★・再生協議会推進事業費補正（ＪＡびばい分）計上	★・現地確認作業						★・農業振興協議会（数量配分）	制度変更により新規対応 マスタープラン	
Ⅰ　①　鳥獣捕獲等事業	★鳥獣捕獲等委託締結（猟友会美唄支部） ★ヒグマ捕獲許可（～9/30） キツネ捕獲許可（随時） ★シカ捕獲許可（～10月末） ※事業内示（国費）		★・鳥獣被害防止対策協議会設立 ★鳥獣被害防止計画策定	★鳥獣被害防止対策実施	★アライグマ捕獲状況調査	★環境簿所作業実	★ヒグマ捕獲報告 ★防止対策電気さく導入済 ★エゾシカ一斉捕獲	野生鳥獣による農作物被害実態調査			時期変更 被害調査実施予定	・鳥獣保護員推薦 防止対策電気さく設置予定 防止対策講習会実施予定
Ⅰ　②　畑作生産振興事業	★なたね肥培管理 JAびばいとの共同研究				★なたね収穫	★なたね播種	小麦播種 小麦肥培管理 天候不順によりリハ実試験中止			★クリーン農業推進協（実績報告等）	エコファーマー申請を繰り上げて実施予定	

事　　項	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
Ⅰ ③ 農業振興地域整備計画変更事務	★整備計画書作成委託締結 ★整備計画書基礎資料調査							★基礎資料作成	成果品内容確認		整備計画告示	整備計画策定
Ⅰ ④ 国営農地再編整備事業			★地区推進検討委員会	★地元説明会	★予算概算要求		実施中		★予算概算決定	法手続開始	地元説明会	概要公告・縦覧
	事業計画概要策定・換地計画基準案・換地計画素案・換地計画概要の策定等											
Ⅰ ④ 道営ほ場整備事業		★工事実施							実施中			
							一時利用地指定					
Ⅰ ⑤ 農業振興事業	★・研修レポート提出			★ふれあいツアーJA周知・参加者選定		★無人ヘリJA広報周知・補助金申請受付	★・道外・海外研修補助金申請受付	★はつらつ農業大賞推薦受付	・運営委員会開催（上旬）		・道外研修補助金申請受付 [redacted]	
Ⅰ ⑥ 食にこだわったまちづくり推進事業				★食のﾌﾘｰﾏｰｹｯﾄ開催・市民会議開催	★食のﾌﾘｰﾏｰｹｯﾄ開催		★市民会議開催・ﾌｫｰﾗﾑ開催		・体験ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ開催	★市民会議開催	[redacted]	
	高付加価値化、食育推進等											
Ⅱ ① 農地・水・環境保全向上対策事業	★交付申請	★共同活動営農活動			★履行確認							履行確認・実績報告
Ⅱ ① 農地・水保全管理支払交付事業	要望量調査		採択申請	向上活動の実施（施設の長寿命化）		★補正予算	★採択・交付申請	実施状況の確認				履行確認、実績
Ⅱ ① 環境保全型農業直接支援対策事業	要望量調査		★採択申請			★補正予算		★取組状況確認		履行確認、実績報告		
					地球温暖化防止等に効果の高い営農活動							
Ⅱ ② Ⅱ ③ 地域資源を活用した農村と都市の対流事業			★修学旅行受入	★・修学旅行受入		★・修学旅行受入	★・修学旅行受入			・修学旅行受入		
	地域おこし協力隊活動、一般農泊支援											
Ⅲ ① 森林の利用と適正管理の推進												
分収造林受託事業		作業道設置業務委託（申請・発注等）						実施計画要望等	実施計画要望等	作業道設置業務委託（申請・発注等） 除間伐業務委託		
防風林等整備事業（緊急雇用事業）		★補助申請等（申請・発注・実績報告）										
未来へつなぐ森づくり推進事業				★補助事業説明会（7月～8月道説明会・9月地元説明会）			補助申請業務等（要望取りまとめ・補助申請・実績報告等）　進行中					

平成23年度　都市整備部　運営方針

H24.1.27
経営会議資料1
（都市整備部）

1　部の業務目標

（部の使命、目指す姿などを箇条書で）

項　　目	根拠となる計画・指針等
豊かな景観あふれるエコロジーなまちづくり ・都市基盤整備 ・景観・緑づくり	美唄市都市計画マスタープラン 美唄市総合交通体系基本計画 美唄市流域関連公共下水道事業計画 美唄市公営住宅ストック総合活用計画 美唄市耐震改修促進計画

2　部の経営資源

部の構成	都市整備課、都市計画課、建築住宅課、水道課、下水道課

（平成23年4月1日現在。予算規模は平成23年度予算書から集計）

職員数		予算規模（単位：千円）									
正規	48 人	一般会計	890,500	下水道会計	509,720	水道会計	1,079,431	工水会計	57,468		2,537,119
嘱託	3 人	関係職員費	214,242	関係職員費	63,708	関係職員費	117,508	関係職員費	5,943		401,401
臨時	4 人	公債費	1,197,773	公債費	1,562,085	公債費	268,057	公債費	20,018		3,047,933
計	55 人	計	2,302,515	計	2,135,513	計	1,464,996	計	83,429	合計	5,986,453

3　重点的に取り組む事項

（部の業務目標を達成するために市政執行方針に記載した事項を中心に箇条書で。**下線は特に重要な事項。**）

- 道路・橋梁・河川・公園の適切な維持管理
- 住宅使用料、水道料金、下水道使用料の滞納整理の徹底
- 水道有収率向上、耐震化、赤水解消の推進
- 橋梁等長寿命化修繕計画策定（Ｈ２３～Ｈ２５）
- 公園施設長寿命化計画策定
- コミュニティガーデン整備事業の推進
- 住宅改修促進助成制度の推進
- 公営住宅ストック総合活用計画の策定
- 工事コストの縮減、適時発注
- 住宅や建築物の耐震改修の促進

4　部の業務目標の達成度を測る指標

（びばい未来交響プラン・施策評価から選択又は新設）

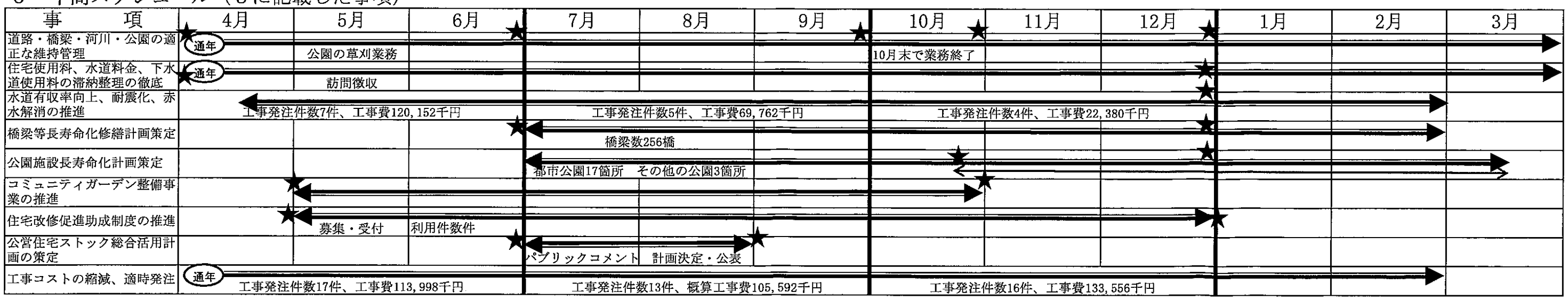
指標名	現状値（H21決算）	H23目標値	備　　考
都市機能の満足度	70.2%	⇨	
道路舗装率	51.9%	52.9%	
道路除排雪の満足度	42.0%	⇨	
下水道普及率	74.5%	76.3%	
公園・緑地の利用率	43.5%	⇨	
下水道水洗化率	89.4%	92.4%	
住宅改修助成件数	40件	65件	

5　びばい未来交響プラン行財政改革※（旧自立推進計画）実施事項

No.	実施項目	実施内容
36	公営住宅使用料等の見直し	H21年4月改定済
39	水道料金の改定	今後の経営状況を踏まえ、改定時期をを判断（検討）
54	下水道使用料改定	H20年4月改定済（15%UP）
98	下水道整備区域の変更	南美唄地区縮小、落合地区の削減1,445ha ⟶ 1,361.5ha
110	下水道事業の公営企業化	継続してさらに検討
112	民間委託の推進（水道事業）	継続してさらに検討

※事務事業インデックスの「行財政改革」に掲載。

6　年間スケジュール（３に記載した事項）



6　年間スケジュール（３に記載した事項）つづき

事　　項	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
住宅や建築物の耐震改修の促進	★ 通年 →	→	→	→	→	→	→	→	★ →	→	→	→

平成23年度　教育委員会　運営方針

H24.1.27
経営会議資料1
（教育委員会）

1　部の業務目標

（部の使命、目指す姿などを箇条書で）

項　　目	根拠となる計画・指針等
「地域に根差し、暮らしに学ぶ」教育の推進 ○美唄らしい特色ある教育の推進 ○美唄市の教育課題の重点的対応 ○教職員の専門職としての資質の向上 ○教育環境の充実 ○生涯学習の充実	・平成23年度教育行政執行方針 ・第2次美唄市生涯学習推進計画前期計画 ・美唄市立幼稚園配置見直し計画 ・第2次美唄市子ども読書活動推進計画 ・美唄市第6期総合計画基本計画 ・美唄市財政健全化計画 ・美唄市自立推進計画

2　部の経営資源

部の構成	学務課（幼稚園、小中学校、給食センター含む）、生涯学習課、図書館

（平成23年4月1日現在。予算規模は平成23年度予算書から集計）

職員数		予算規模（単位：千円）									
正規	44 人	一般会計	583,252	会計	0	会計	0	会計	0		583,252
嘱託	16 人	関係職員費	399,933	関係職員費	0	関係職員費	0	関係職員費	0		399,933
臨時	55 人	公債費	259,697	公債費	0	公債費	0	公債費	0		259,697
（教職員数165人）											
計	115 人	計	1,242,882	計	0	計	0	計	0	合計	1,242,882

3　重点的に取り組む事項

（部の業務目標を達成するために市政執行方針に記載した事項を中心に箇条書で。**下線は特に重要な事項。**）

○美唄らしい特色ある教育の推進
- グリーン・ルネサンス推進事業の推進[食農教育（農業）、環境教育（宮島沼）、地域文化（アルテピアッツァ）]

○美唄市の教育課題の重点的な対応
- 確かな学力育成プランの推進（基礎基本の定着、標準学力検査実施、地域別課題へのスクールソーシャルワーカー配置）
- 学校支援地域本部事業の推進（地域の人的資源の活用）

○教職員の専門職としての資質向上
- 教職員研修の充実（校内研修の活性化、ふるさと美唄研修会の実施、教職員ＩＣＴ研修の実施）

○教育環境の充実
- 特別支援教育の推進
- 図書購入による蔵書の充実、読書活動の活性化（学校及び市立図書館双方で）
- 学校教育施設等の整備（学校施設設備の改修、取り換え、給食センター設備更新など）
- 学校適正配置の推進（南美唄地域での幼保一元化の推進）
- 学校給食会計の公会計化

○生涯学習の充実
- 施設設備の改修[総体（ボイラー・コートライン）、市民会館（ボイラー）、郷土史料館（屋上防水）、東明駅舎（外壁等）]
- 体育活動の振興[東明公園内（サンスポーツランド）スポーツ施設長寿命化計画策定]
- 学習機会の充実(生涯学習計画の推進、学習機会の提供、郷土史料館の活性化)
- 峰延・茶志内・西美唄地区放課後児童対策の推進
- 体育センターの廃止
- 後藤竜二作品読書フォーラムへの支援

4　部の業務目標の達成度を測る指標

（びばい未来交響プラン・施策評価から選択又は新設）

指標名	現状値（H21決算）	H23年目標値	備　　考
・家庭学習を毎日1時間以上行う子どもの割合	小学生 38.7% 中学生 38.0%	現状値引き上げ	
・学習内容を理解している児童・生徒の割合	68.4%	現状値引き下げ	
・不登校児童・生徒数	23人	34.4%	
・生涯学習・スポーツに取り組む市民の割合	31.8%	27.0%	
・市内の芸術・文化鑑賞をした市民の割合	26.0%	2,050人	
・市民文化祭に参加した市民の数	1,997人	680人	
・スポーツ教室年間参加者数	647人		

5　事務事業インデックスＩ期行財政改革掲載事項

No.	実施項目	実施内容
2－2	・三井美唄幼稚園の配置見直し	・H23年実施を　→H25年実施に延期
2－3	・幼稚園教諭給与見直し	・引き続き検討
2－4	・体育センターの廃止	・H23年実施を　→H24年実施に延期

※事務事業インデックスの「行財政改革」に掲載

6　年間スケジュール（3に記載した事項）

事　　項	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
グリーン・ルネサンス推進事業	農業体験実施校決定 検討委員会	植え付け作業	育成観察 体験活動把握・周知	自然体験・	加工・販売体験ＷＥ	収穫作業 ＥＢ会議・美唄の昔	話講演会	収穫祭・シンポジウム （シンポジウム１２月実施）	次年度事業検討			次年度準備
確かな学力育成プランの推進	標準学力検査実施 プランの説明・家庭、地域周知		結果の通知・活用 各学校指標の設定	課題把握・改善検討（プロジェクト設置） 各学校指標の達成に向けた取り組み							検討結果の答申 次年度計画へ反映	
	スクールソーシャルワーカーの配置	個別ケースへの対応 各学校情報の把握										
学校支援地域本部事業	学校側の支援希望調査 ボランティア登録促進		コーディネーターの配置 ボランティアの派遣			コーディネーターによる地域・学校との連携						事業のまとめ（次年度以降に向けて）
教職員研修の充実	公開研実施・研修機会周知 ふるさと美唄研修		研修計画・参加募集	公開研究会の実施 研修実施	ICT研修（各学校ごと）							
特別支援教育の推進	役員会議の開催 専門家チーム会議の開催	個別ケース等への対応										
学校教育施設等の整備		学校施設設備改修入札		工事起工	工事完了（8/15）	東栄小支障物件撤去						
			実施設計委託 （峰小・南小・南中）			消防設備の改修						
学校等適正配置の推進(幼保一元)				検討会議の設置			実施体制の決定					
学校給食会計の公会計化	先進地・近隣等の状況把握				学校給食運営協議会で検討	学校給食運営委員会で検討	学校関係者との協議				課題の整理 課題の克服	

※裏面に続く。

6　年間スケジュール（３に記載した事項）つづき

事　　項	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学習機会の充実	市民カレッジ素案策定				市民カレッジ受講者募集・開校式			閉校式 教育講演会				
郷土史料館活性化事業	職員採用・開館準備	パンフレット作成 収蔵物PR・ボランティアガイド養成・移動史料館・移動視聴覚ライブラリー								原爆展		
社会教育施設の整備	工事起工	総体ライン（完了）、東明駅舎（5/27～7/15）、郷土史料館（6/7～9/16）、市民会館（6/14～9/30）、総体ボイラー（9月予定）、総体アンテナ撤去（アナログ放送終了後）										
計画策定（東明サンスポーツ）		入札依頼	入札発注（１０月発注）									成果品受領
薄延・茶志内・西美唄地区放課後児童対策の推進	地域開設（3か所スタート）											
体育センターの廃止	利用団体との協議		議長あて「陳情書」の提出	陳情書の扱いを待って方向性を協議			方向性の決定 （１２月で決定）			利用団体との調整 運営方法の検討		議会提案（開館時間・料金改定）
後藤竜二作品読書フォーラムへの支援	実行委員会の開催	読書感想文コンクール		感想文の募集	講演会開催	原画展開催 審査・発表・表彰						

平成23年第1回市議会定例会以降における主な課題と対応

時　期	質　問　要　旨 一般質問、常任委員会、特別委員会　質問	答　弁　要　旨	具体的対応・スケジュール	現在までの対応状況
1定	学力の向上に向けた取り組みで全国学テ等の結果の公表への考えは。（高橋議員、森川議員　一般質問）	過去のデーターを分析、「確かな学力育成プラン」として、4月の早い時期に公表する。	4月保護者説明（ＰＴＡ総会など）、5月広報掲載、ＨＰへ掲載、プロジェクト委員会設置。２月中旬答申予定。24年予算「プロジェクト推進事業」で予算要求。	
3定	学校適正配置に関する動きについて（五十嵐議員　決特）	保護者や地域からH25.4月に中央小学校に統合を求める要望書が提出、今後、配置見直し作業を進める。	統合準備委員会を11月に設置、3月議会で学校の廃止について条例提案。	
	就学援助におけるメガネ、コンタクトレンズの給付への考え方（吉岡議員　決特）	現在調査中、検討を行う。	全道各市の状況調査。給付の実態は皆無、現段階での給付は行わない。	
4定	幼稚園における集団フッ化物洗口について（森川議員　一般質問）	保育所、幼稚園で保護者の同意のもと、来年１月から実施。	24年度民間幼稚園・保育所に広げ、25年度に小学校へつなげていく。	
	学校トイレの洋式化の推進について（吉岡議員　一般質問）	今後計画的な改修に努めていく。	24・25年度2カ年で改善、24年度予算に要求。内示で先送りの査定。	
	就学援助における追加３項目支給への考え方（吉岡議員　一般質問）	今後他市の動向や財政状況を踏まえ給付に向けて検討していく。	24年度予算に計上。PTAで岩見沢市給付。その他実績無く内示で先送りの査定。	
4定	教職員住宅整理事業における管理職住宅の取り扱いについて（五十嵐議員　一般質問）	教頭住宅を学校近くで維持管理し、校長は市内居住を原則に民間アパート活用。本年度校長の転出入に併せて対応。	今後、維持管理していく教頭住宅の住環境の整備を計画的に進めていく。	
4定	幼稚園、小中学校の熱中症対策について（土井議員　一般質問）	夏場は教室の窓の開放があり、害虫や蜂の侵入を防ぐため網戸の計画的な整備に努めていく。	24年度予算に要求。東小学校、茶志内小学校、南美唄小学校。それぞれ、内示において先送りの査定。	
4定	給食食材の放射性物質の測定について（土井議員　一般質問）	今後他市の情報など把握して、研究していく。	道内保健所6ヶ所（岩見沢にも配備）に検査機が配備、活用について要望を行っていく。	
	健全化計画見直し版の中で、体育センターの廃止時期の変更の考え方について。H22・4定　・一般質問・紫藤議員、H23第1定・予特・紫藤議員、H23・2定・常任委員会	利用団体から継続利用の強い要望があり、廃止後の施設の有効活用の観点から利用団体との話し合いを進めているが、もう少し時間が必要。	月・火曜日の2日間を休館し、週5日間の開館とする。 市直営で管理（体育協会に打診をしたが、金額的に折り合いがつかず）。施設改修は最低限のアリーナ屋根のコーキング改修を予定。3月定例会で条例改正を提案（臨時会があれば臨時会での提案も視野に入れる）	
4定	郷土史料館視聴覚室を映画会などで利用することはできないか。（吉岡議員　一般質問）	持ち込みの物は許可していなかったが、視聴する内容や利用時間等課題を整理し、利用に向け検討する。	新年度の利用に向け検討する。	

平成23年度　病院事務局　運営方針

H24.1.27
経営会議資料1
（病院事務局）

1　部の業務目標

（部の使命、目指す姿などを箇条書で）

項　　目	根拠となる計画・指針等
・市民の健康保持のため現行診療体制の維持継続と持続可能な病院経営のため経営健全化の着実な推進	・市立美唄病院改革プラン ・市立美唄病院経営健全化計画

2　部の経営資源

部の構成	次長（総務・医事グループ）

（平成23年4月1日現在。予算規模は平成23年度予算書から集計）

職員数		予算規模（単位：千円）									
正規	76 人	病院事業会計	1,436,105		0		0		0	病院事業会計	1,436,105
嘱託	20 人	内関係職員費	895,834		0		0		0	内関係職員費	895,834
臨時	45 人	公債費	0		0		0		0	公債費	0
計	141 人	計	1,436,105	計	0	計	0	計	0	合計	1,436,105

3　重点的に取り組む事項

（部の業務目標を達成するために市政執行方針に記載した事項を中心に箇条書で。**下線は特に重要な事項。**）

①病院改革プラン及び経営健全化計画の推進
②病院改革プラン及び経営健全化計画の点検評価、公表
③医療スタッフの確保（内科医師及び看護師等の確保）
④医療機器等の整備
⑤信頼される病院づくりのため病院情報の発信（市民意見の集約等）
⑥今後の病院のあり方についての検討
　・23年度中に今後の地域医療提供体制の確保やあり方などを協議（保健福祉部との関連）

4　部の業務目標の達成度を測る指標

（びばい未来交響プラン・施策評価から選択又は新設）

指標名	現状値（H21決算）	H23目標値		備　　考
経常収支比率	100.2%	101.9%	100.3%	
職員給与比率	61.8%	62.7%	61.8%	
病床利用率	73.5%	76.6%	72.1%	
医業収支比率	92.9%	94.4%	92.6%	
不良債務比率	113.6%	115.6%	128.4%	
		※左側は経営健全化計画、右は改革プラン値		

5　びばい未来交響プラン行財政改革※（旧自立推進計画）実施事項

No.	実施項目	実施内容
331	市立美唄病院事業	・市立美唄病院改革プランの推進（H21.1策定） ・市立美唄病院経営健全化計画の推進（H22.3策定）

※事務事業インデックスの「行財政改革」に掲載。

6　年間スケジュール（３に記載した事項）

事　　項	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①改革プラン、健全化計画推進	★進行管理 →	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
②改革プラン、健全化計画点検評価表の作成と公表		★決算終了後点検評価表の作成		★市民懇談会各委員に持ち回り説明				★公表（メロディー）				
③医療スタッフの確保	★看護師１名・検査技師１名採用	★看護師１名採用 →	→	→	→	→	→	→	→	→	内科医師１名・看護師１名採用内定	→
④医療機器等の整備		★	・超音波画像診断装置・生化学自動分析装置　・免疫測定装置　（６月）									・MRI用超電導マグネット装置導入予定
⑤病院情報の発信（隔月発行）	★４月号発行	★	６月号発行	★	８月号発行	★	１０月号発行	★	１２月号発行		２月号発行予定	
⑥今後の病院のあり方についての検討	★保健福祉部（美唄市地域医療体制の在り方検討委員会に係る打合せ等）をはじめ関係機関（医師会及び医療機関）との協議打合せを継続して実施。 →	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→

平成23年第1回市議会定例会以降における主な課題と対応

時　期	質　問　要　旨 一般質問、常任委員会、特別委員会　質問	答　弁　要　旨	具体的対応・スケジュール	現在までの対応状況
1定	内科外来診療室の待合において、診察室の会話が他の患者に聞こえてしまい、個人情報保護の観点から望ましくない。	衣服の着脱に要する時間や次の診療までの待ち時間を短縮し、利便性を考慮し実施してたが、待合方法について院内で検討する。	内科医師及び看護部と協議を進める。 6月をめどに方針決定する。	平成23年7月から、診察室での待合を止めて対応してきている。

平成23年度　消防本部　運営方針

H24.1.27
経営会議資料1
（消防本部）

1　部の業務目標

（部の使命、目指す姿などを箇条書で）

項　　目	根拠となる計画・指針等
消防の使命は、市民と連携を図り災害の低減を目指すとともに、災害発生時には２４時間体制という組織力をもって迅速・確実に対応し災害を最小限に抑え、まちづくりの基本である「市民生活の安全と安心」を確保することです。	・「安全と安心なまちづくり」のための消防体制の充実 ・地域に根ざした火災予防の推進 ・迅速・的確な災害対応の推進

2　部の経営資源

部の構成	総務課・予防課・警防課・救急課

（平成23年4月1日現在。予算規模は平成23年度予算書から集計）

職員数		予算規模（単位：千円）									
正規	45 人	一般会計	156,598	会計	0	会計	0	会計	0		156,598
嘱託	4 人	関係職員費	358,515	関係職員費	0	関係職員費	0	関係職員費	0		358,515
臨時	人	公債費	0	公債費	0	公債費	0	公債費	0		0
計	49 人	計	515,113	計	0	計	0	計	0	合計	515,113

3　重点的に取り組む事項

（部の業務目標を達成するために予算要求する事項を中心に箇条書で。下線は特に重要な事項。）

- 防火・防災意識の向上
- 防火対象物等の査察の充実
- <u>住宅用火災警報器の設置促進</u>
- 各種災害への対応力の強化
- <u>救急業務の高度化</u>
  救急救命士養成・研修・実習
- <u>消防施設・車両・装備の充実強化</u>
  ①　消防施設整備事業
  ②　消防車両整備事業
  ③　消防水利整備事業
- 消防団の充実強化
- 消防の広域化の推進
- 消防救急無線のデジタル化

4　部の業務目標の達成度を測る指標

（びばい未来交響プラン・施策評価から選択又は新設）

指標名	現状値（H21決算）	H23目標値	備　　考
火災による死傷者数	3人	0人	
住宅用火災警報器設置率	26.2%	100.0%	
消防水利の充足率	88.7%	90.0%	
救急救命士配置数	12人	12人	
救急講習会受講者数	929人	1,000人	
		－	

5　事務事業インデックスＩ期行財政改革掲載事項

No.	実施項目	実施内容

※事務事業インデックスの「行財政改革」に掲載

6　年間スケジュール（３に記載した事項）

事　　項	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
火災予防の周知徹底	★一般住宅立ち入り検査	★防火講演・避難訓練・広報	→	→	→	→	一般住宅立ち入り検査	防火講演・避難訓練・広報	→	→	→	→
住宅用火災警報器の設置促進	★一般住宅立ち入り検査	★メロディー・ホームページ記載	→	→	→	→	一般住宅立ち入り検査	メロディー・ホームページ記載	→	→	→	→
防火対象物等の査察	防火対象物・危険物施設査察	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
消防隊の活動力の向上	実践に即した訓練・研修	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
消防職員の育成	★救助科入校	体力維持・向上　安全管理研修	→	★火災調査科入校	★警防科・幹部科入校	★はしご自動車入校	初任教育入校	→	→	危険物入校	→	→
救急講習会の実施	救急講習	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
救急業務の高度化	★気管挿管講習入校 救命士病院研修	★薬剤投与講習入校	★薬剤投与病院研修	→	→	救命士養成東京研修所入所　３月ま	★気管挿管病院実習	★救命士病院研修（通年）	→	→	→	→
消防施設・車両・装備の充実		★庁舎屋上防水改修	→				★消火栓整備	★消火栓更新	★査察車整備		★ポンプ車整備	
消防団の充実	学科教育　団員募集	→	★現地教育訓練	★消防演習	★防災訓練	→	→	→	→	出初式	消防団員幹部課程	→
消防の広域化の検討	★協議会	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
消防救急無線のデジタル化基本計画	整備計画の検討	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→

★　実施済み

平成23年第1回市議会定例会以降における主な課題と対応

時　期	質　問　要　旨 一般質問、常任委員会、特別委員会　質問	答　弁　要　旨	具体的対応・スケジュール	現在までの対応状況
3定	消防の広域化の考え方を問う。〔一般質問：長谷川議員〕	北海道消防広域化推進計画で示された枠組みの、南空知圏の4市5町でそれぞれ消防の広域化について検討を進めている。	年内を目途に消防の広域化について検討する。	美唄市においての消防の広域化は、南空知消防広域化に関する報告書の論議に基づき広域化することが望ましいが、基本指針で定める平成25年4月からの広域化は、現段階で南空知管内市町との調整が難しく期間も短いことから、今後も継続的に広域化について検討を進めていきます。